

お わ り に

理事 狛江研究所長 福島 充男



資源小国のわが国において、21世紀を通してエネルギーを安定に確保していくためには、原子力発電は不可欠の中核エネルギー源である。ここでは当研究所が次世代原子力発電における有力技術と考えている、乾式リサイクルと金属燃料FBRの研究状況を紹介させて頂いた。当研究所では国内外各機関のご協力を得て研究開発を続けてきており、さらなる発展のためには、わが国官民にわたる、一層のご協力や国レベルでの開発が不可欠である。

おりしも現在、原子力委員会では原子力長期利用計画の策定が進みつつあり、また核燃料サイクル開発機構、電力が一体となってFBRとその燃料サイクルの評価が進められている。当研究所では国、電力における研究開発に、ここに紹介させて頂いた乾式リサイクル、金属燃料FBRに関する研究の成果を反映してゆくと共に、今後とも積極的に協力しながらFBRサイクル技術の開発に力を注いでいく所存である。関係各位のご指導とご鞭撻をお願いする次第である。